

2024年度 関西学院大学 海外客員教員(招聘A) 成果報告書

書式 1

(適宜行追加可)

| | | |
|------------|--|--|
| 受入担当 教員 | 所属・職 | 経済学部・教授 |
| | 氏名 | 東田啓作 |
| 海外客員 教員 | 所属・職 | Lille Économie Management, Université de Lille・Professor |
| | 氏名 | Jan Fidrmac |
| 招聘目的 | 1. 授業担当及び研究 ②. 共同研究 3. 特別枠 (いずれかに○) | |
| 招聘期間 | 2024年 9月 24日 ~ 2024年 11月 28日 | |
| 成果報告 | <p>【共同研究】</p> <p>以下の内容を日本語で記載して下さい。</p> <p>Jan Fidrmac氏の招聘期間中、ミーティングとディスカッションを定期的に行い、下記のプロセスで共同研究を進めた。</p> <p>1. 授業担当及び研究</p> <p>(1) 授業科目名</p> <p>(2) 授業担当の成果</p> <p>(3) 研究の内容</p> <p>(4) 研究の成果</p> <p>2. 共同研究</p> <p>(1) 共同研究の内容</p> <p>(2) 共同研究の成果</p> <p>3. 特別枠</p> <p>(1) 活動内容</p> <p>(2) 成果</p> <p>① <u>既存研究のサーベイ</u>: ナショナリズムのみに焦点を当てるのではなく、制度全体に視野を広げて、「デモクラシー」、「オートクラシー」、「ポピュリズム」、および「その他の制度的要因」と貿易の関係について既存研究のサーベイを進めた。特に、因果の推定の観点から、</p> <p>i) 制度が貿易・直接投資・移民に与える影響</p> <p>ii) 貿易・直接投資・移民が制度選択に与える影響</p> <p>iii) 貿易自由化や貿易紛争が、投票行動や政治的選好に与える影響</p> <p>の3つに分類してサーベイを行った。</p> <p>② <u>リサーチクエスションの明確化</u>: この共同研究は当初、文化の多様性とナショナリズムが貿易、投資、移民に与える影響を、データを用いて実証的に明らかにすることを目的とし、特に、言語や文化の違いが、「ナショナリズムが貿易・投資・移民に与える影響」の程度に与えるインパクトを明らかにすることを目的としていた。サーベイの結果、ポピュリズムを含め、ポピュリズムおよびナショナリズムの台頭と貿易・投資・移民に与える影響の分析を行うこととした。特に、</p> <p>i) 国レベルのデータではなく、企業レベルや自治体レベルのdisaggregated dataを用いて因果関係の推定</p> <p>ii) ポピュリズムやナショナリズムの台頭の原因の識別</p> <p>iii) ポピュリスト政治家に対する選挙支持とポピュリスト政策の国境を越えた波及効果の存在</p> <p>の3点を重要なポイントとした。</p> <p>③ <u>データの存在確認と収集</u>: 上記の分析を行うためのデータの存在を確認し、データ収集とデータベースの構築を進めた。</p> | |

④ セミナー報告とディスカッション：共同研究のテーマに関するJan Fidrmac氏の研究について、下記のセミナーで研究報告を行ってもらった。セミナーの前後で、セミナーとは別にこれらの研究と共同研究のリンクについて個別にディスカッションを行った。

－ 神戸大学経済学部・大学院研究セミナー

日時：2024年10月2日（水）15:10～16:40

場所：神戸大学

タイトル：National fractures: Withdrawal of public services and electoral dynamics

内容：公共サービスの低下が投票行動、特にポピュリズムへの選好に与える影響を分析している。

－ 京都大学国際経済学セミナー

日時：2024年11月7日（木）16:45～18:15

場所：京都大学 吉田キャンパス 法経済学部東館 1階 106演習室

報告タイトル：Migration and Regional Adjustment to Asymmetric Shocks in Turkey

内容：トルコの地域別の労働市場や経済の状態のデータを用いて、それらが移民の地域選択、およびトルコ国民の地域間移動に与える影響の分析を行っている。

－ 関西学院大学経済学部 ランチセミナー

日時：2024年11月13日（水）12:45～13:45

場所：第2教授研究館（新館）4階会議室6

報告タイトル：National fractures: Withdrawal of public services and electoral dynamics

内容：公共サービスの減少が、投票行動、特にポピュリズムへの選好に与える影響を分析している。

⑤ 研究成果：招聘期間が2カ月半と短かったため、最終的な論文の完成や出版には至っていない。ただし上記の通り、リサーチクエスチョンを明確にしデータ収集を進めることができている。したがって、2025年度中に論文を執筆し学会報告を経てレフリージャーナルに投稿する予定である。

【共同研究以外の研究・教育活動】

上記以外について、Jan Fidrmac氏は、招聘期間中に以下の通り、学内外の研究、および教育に大きな貢献をしていただいた。

① 研究活動

－ 関西学院大学経済学部 経済学セミナー

日時：2024年10月23日 水曜日 16:00～17:30

場所：経済学部棟 2階会議室

報告タイトル：Education and Mental Health: Causal Effects and Intra-family Spillovers

内容：教育がメンタルヘルスに与える影響を、家庭内のスピルオーバーまで含めて、トルコの教育政策の変更を用いた差の差分析によって明らかにした研究である。経済学部のファカルティメンバーの複数の研究に関連している。

－ 龍谷大学セミナー

日時：2024年10月30日（水）15:30～17:00

場所：龍谷大学

報告タイトル：Violence and Socio-economic Outcomes of Ukrainian Refugees in Poland（共著）

内容：本稿では、ポーランドにおけるウクライナ難民の健康、ウェルビーイング、ソーシャルキャピタルを評価し、ウクライナに残留した難民と比較する。その結果、ウクライナ難民は物質的・精神的ウェルビーイングが低いことがわかった。また、暴力やその他の戦争の悪影響にさらされたことの永続的な影響も明らかにした。

② 日本国際経済学会第83回全国大会への参加

日時：2024年10月6日（日）

場所：神戸大学

内容：複数の研究報告に対して、積極的にコメントやディスカッションを行い、報告者の研究の発展に貢献した。

③ 教育活動

－ 専門演習でのゼミ生向けの研究報告

日時：2024年10月3日（木）17:00～18:30

場所：関西学院大学経済学部棟1階 2号教室

報告タイトル：Friday the 13th The Empirics of Bad Luck

内容：因果推論を理解するためのとても良い研究であり、学部生および大学院生にとって実証研究の手法を学ぶ良い機会となった。

－ 専門演習・卒業研究演習でのゼミ生および大学院生の研究報告への参加とコメント・ディスカッション

日時：2024年10月31日（木）16:00～17:30

場所：関西学院大学経済学部棟1階 2号教室

内容：専門演習3回生のグループ研究の報告（日本酒への支払意志額と文化の関係をコンジョイント分析によって考察）および大学院生の研究報告（産業用電気料金が出荷・純輸入に与える影響、環境政策と雇用）に対してコメントをもらった。

受入担当教員が成果報告欄を記入される場合は本書式をお使いください。

* 本報告書は本学ウェブサイト等で公開されます